

# 水稻栽培情報 8月号

令和3年7月19日  
J A 柳 川  
南筑後普及指導センター

## 【水稻】

### 1 中干し

令和3年産水稻の生育は平年並みに推移しており、中干し開始時期の目安は以下のとおりとなっています。無効分げつの抑制や倒伏防止のため、生育状況を確認して適切に行います。

品種	中干し開始時期
元気つくし、ヒノヒカリ、実りつくし	7月23日頃から
ヒヨクモチ	7月25日頃から

※「元気つくし」、「実りつくし」：6/20移植、「ヒノヒカリ」、「ヒヨクモチ」：6/24移植の場合の目安です。茎数が20本/株になっていることを確認して中干しを行ってください。

※「実りつくし」については、倒伏軽減のため田面が白乾しない範囲で”強めの中干し”を実施しましょう。

### 2 施肥

穂肥時期の目安と施用量は、以下のとおりです。適正籾数確保と充実向上のため、水稻の生育に応じて適切な肥培管理を行います。

(kg/10a)

品種	穂肥①時期 (追肥一発も同時期)	穂肥①	穂肥②	追肥一発	出穂期 (予想)
		NK2号		ワソヨットエムコート206	
夢つくし	7月27日頃	15	—		8月13日頃
元気つくし	8月4日頃	15	10	15	8月22日頃
ヒノヒカリ	8月8日頃	15	—		8月27日頃
実りつくし	8月12日頃	15	10		9月1日頃
ヒヨクモチ	8月21日頃	20	15	25	9月7日頃

※穂肥①及び出穂期の時期は、「夢つくし」：6/15日移植、「元気つくし」、「実りつくし」：6/20移植、「ヒノヒカリ」、「ヒヨクモチ」：6/24移植の場合の目安です。幼穂長が5mmになっていることを確認しましょう。

※穂肥②は穂肥①の1週間後に施用します。

※葉色が濃い場合は施肥時期を遅らせるか、施肥量を減らします。

### 3 水管理

**穂ばらみ期から穂揃期**は、生育期間中で最も水を必要とする時期のため、湛水します。穂揃期以降は、根の機能維持のため、間断灌水（3～4日おきに湛水と落水を繰り返す）を行います。

また、台風の接近等で強風の恐れがある場合は、深水にして稲体を守ります。台風通過後も数日は水分の蒸散が激しいため、湛水状態を継続します。

#### 農薬使用上の注意

- 1 散布前に必ず農薬ラベル（①適用作物、②使用量や希釈倍数、③使用時期や総使用回数、④有効期限）等を確認！
- 2 散布時には近隣作物や住宅街への飛散防止対策を徹底！
- 3 散布後は必ず散布器具(タンク、ホース等)を洗浄！
- 4 防除履歴の正確な記帳！